



▲さまざまな衣装でまつりを楽しむ入居者のみなさん



▲保育所の子もたちのダンス



▲フレッシュな「夏やさい」のみなさんが最優秀賞



まつりを楽しむ子どもたち



特養「いいたてホーム」の夏まつりが、やまゆり保育所を交え、ホーム前庭と駐車場で開催されました。まつりでは、お神輿をはじめ仮装行列やまゆり保育



いいたてホーム「夏まつり」

所児童の「崖の上のポニョ」の可愛らしいダンス、飯館フラクラブのフラダンス、澄美れ会による「大黒舞」などが披露され、まつりの雰囲気盛り上げました。また、会場内にはホーム職員や村社会福祉協議会、ボランティアのみなさんによる模擬店が並び、かき氷や焼きそば、焼き鳥を買い

みんなでおどろ

求める人たちの長い列ができていました。まつりの最後に、はなづか太鼓の音頭に合わせ、伊丹沢老人クラブ、入居者とその家族たち、来場者が、やぐらを囲んで踊りの輪をつくり、楽しい夏まつりをみんなで過ごしていました。



▲「謙虚な海賊」の仮装



▲お神輿ワッショイ!



▲澄美れ会の大黒舞



▲飯館フラクラブによるフラダンス

▲まつりを飾った盆おどり



▲魅力たっぷりの落語を披露するうん平師匠



▲バルーンアートの花を受け取るご夫婦

演目は「家見舞い」「お菊の皿」の二題、来場者約80人が、うん平師匠の落語の世界を楽しみました。福祉講話では、うん平師匠は、ご自身の経験を踏まえ「言葉を巧みに使うことで、相手に気を配り、自分の心を感じる事ができる。相手を思いやる心が、相手に、地域に広がり、誰かに何かをしてあげたいという福祉の心へつながっていく」と言葉の大切さを話してい



▲講話するうん平師匠

現代はストレスだらけ、ストレスを少なくする努力が大切です。笑ったり、ドラマを見たり、スポーツ、おしゃべりすること何でも良いから毎日何かを感じる「心」を動かす体操をしましょう!

飯館村社会福祉協議会主催で、寄席やテレビ、ラジオで活躍する林家うん平師匠を招いた「ふくし落語」が公民館で開かれました。

また、バルーンアートも披露され、うん平師匠が風船で作った花を手渡し、ご主人が奥様へプレゼントする場面も見られ、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。

思いやる心が福祉の心



▲公民館を出発するパレード

夏の事件・事故 防止運動キャンペーン

この日、南相馬警察署の生田目交通課長や関係団体の会員など40人が、1学期の終業式後、下校する児童らへ、交通安全・防犯の冊子や啓発グッズを配り、夏休み中の生活の安全を呼びかけました。



▲交通安全や防犯を呼びかけるようす (飯樋小学校)